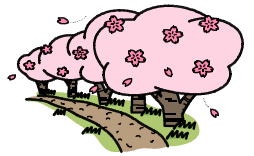


中原通信

文責 増永 善久



一年間お世話になりました

早いもので、今年度もあと1週間足らずとなりました。今年度は150周年記念行事もあり、児童の中にふるさとを想う気持ちの高まりが感じられた1年でした。来年度以降も、ふるさとを想う気持ちを大事にするとともに、社会で生きていくうえで土台となる「あいさつする・仲良くする・感謝する」の3つのするを深く心にきざみ、自分の持つ可能性を広げていってほしいと思います。

今年一年、学校では地域や保護者の皆さまに支えられた様々な体験活動などを行ってきました。保護者の皆さまのお子さんへの後押しがあり、学校の取組が確実に子どもたちの成長につながったと思います。以前、私の恩師の先生から「親の一言は教師の千言に勝る」という言葉を聞きました。今後も保護者の皆さまのご理解とご協力のもと、教育活動を進め、子どもたちの成長につなげていきたいと考えています。本当に今年度一年、学校へのご支援ありがとうございました。

卒業式より

3月21日(金)に第135回卒業式を行いました。本校および児童と関わりが深い皆さまを来賓としてお迎えし、4名の卒業生の門出を保護者の皆さまとお祝いできたことをうれしく思います。今年の卒業生が入学した令和元年度は、新型コロナウイルス感染症により令和2年3月には全国的な学校の臨時休業がありました。2年生のはじめには、始業式の約1週間後に再び、臨時休業に入り、6月1日まで学校は再開されませんでした。卒業生の小学校生活は順風満帆なスタートではありませんでした。それでも、卒業式での卒業生の言葉にあったように、それぞれの学年で思い出に残る出会いがあり、卒業生は一步一步、着実に成長してきたと思います。4人という少ない人数で、苦労したり、悩んだりしたこともあったと思いますが、4人は協力し合い、いろんな事に意欲的に対応し、力を伸ばしてくれたと思います。晴天の中、厳かな雰囲気のもと感動的な式となりました。卒業生4名は、中学生に向けた第一歩を踏み出しました。



卒業式より



また、3月7日(木)には、「卒業生を送る会」を実施しました。在校生の皆さんは、5年生を中心に卒業生のために、いろんな企画を考え、意欲的に取り組んでくれました。卒業生と在校生の仲の良さが感じられた心温まる会でした。

送る会の様子



※春は別れの季節です

27日(木)に本校の退任式が予定されています。本年度末の異動があれば、本校からの転出もあります。別れや4月に入ってからの新しい出会いなど春は子どもたちを取りまく環境が変わる季節でもあります。環境が変わることで何かご心配なことがありましたら、遠慮なく学校にご相談ください。